

ファインステージII ステップデッキ (横止め仕様) 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご確認ください。

◎設置場所・位置について

- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

! 使用上のご注意について

- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- デッキの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

- 洗淨方法：中性洗剤を所定の割合で水で希釈し、布巾などで部材の長手方向に擦るように拭き、最後に水で洗剤をきれいに洗い流してください。
※月に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れキズ等の補修：まず、表面の汚れを雑巾などで拭き取ってください。その後、汚れキズ部分をサンドペーパー（#40～60）を長手方向に擦り、汚れキズを取り除いてください。最後に表面の削り粉を清掃してください。

もくじ

梱包明細	2
納まり図	2
1. 束柱・大引の設置	3
2. 鼻隠し取付金具の取付け	3
3. デッキ材の取付け	4
4. 鼻隠しの取付け	6
施工工事店様、販売店様へのお願い	6

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品(ビス含)以外は使用しないでください。

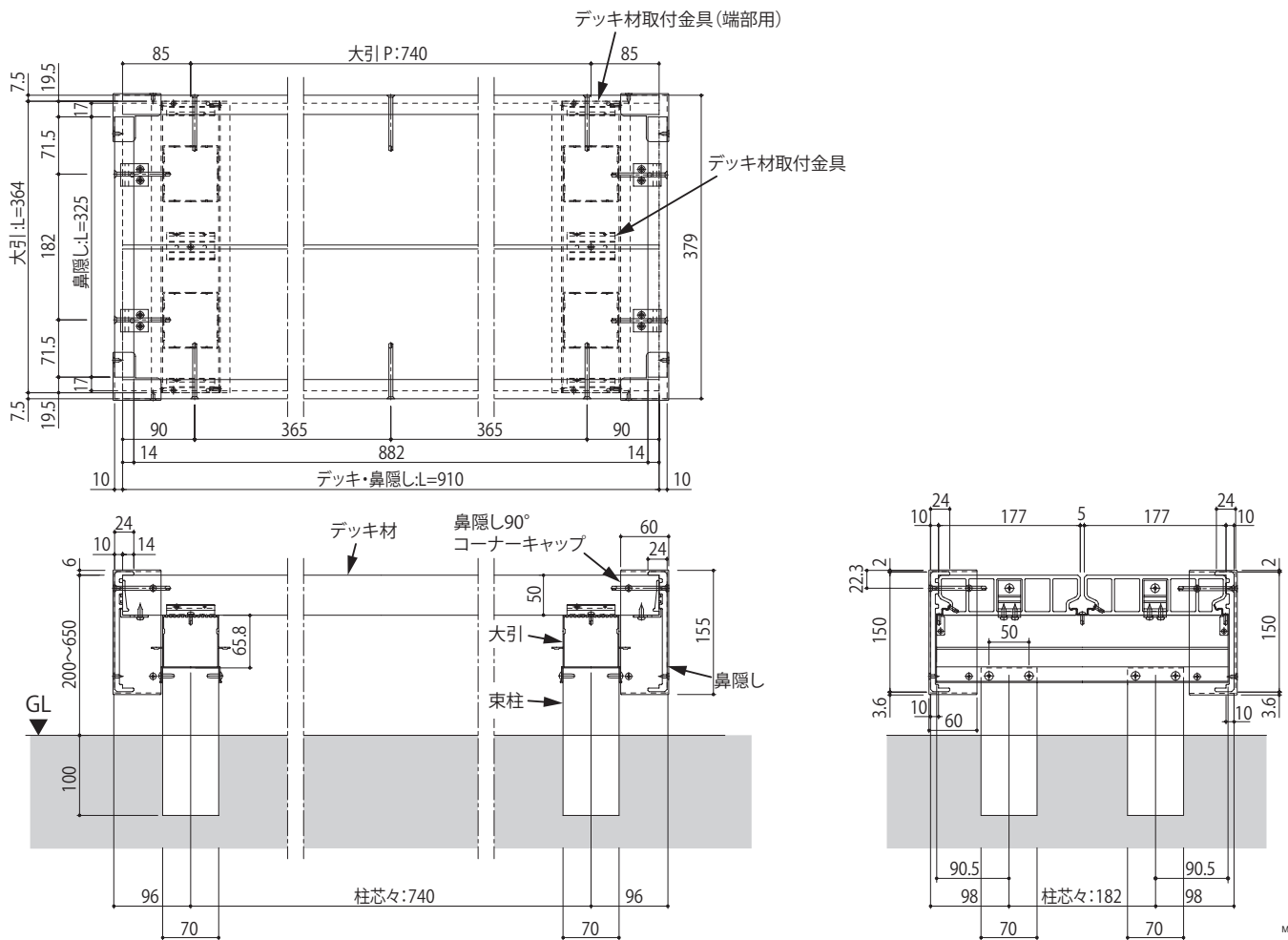
表内の () は個数を表しています。

梱包名称		梱包内容	
階段部品	樹脂材	デッキ材 [L=910] (2) ・ 鼻隠し [L=910] (2) ・ 鼻隠し [L=325] (2)	
		階段材部品セット	鼻隠し取付部品 (4) ・ $\phi 6 \times 16$ ナベタッピン 1種 (8) $\phi 5 \times 60$ 皿セルフドリリングビス (10) ・ $\phi 5 \times 16$ トラストッピン 3種 (16) $\phi 4 \times 12$ 皿タッピン 1種 (16) 鼻隠し 90° コーナーキャップ (4) デッキ材取付部品 (2) ・ デッキ材取付金具 (端部用) (4) $\phi 4 \times 13$ セルフドリリングビス (2) ・ $\phi 4 \times 13$ 皿セルフドリリングビス (12) 施工説明書 [ME-1851] (1)
	アルミ材	大引 [L=364] (2) ・ 長束柱埋込式 [L=704] (4)	

納まり図



束柱は埋込式長束柱になります。



ME1851-001

1 束柱・大引の設置

- ①デッキ本体の高さに応じて、ステップの高さを決めてください。
- ②束柱の下側を必要な長さに切詰めてください。

! ●束柱は、必ず下側から切詰めてください。

●束柱の上側にはあらかじめバーリング加工がしてあります。上側を切詰めないでください。

- ③大引に2本の束柱を取付けてください。

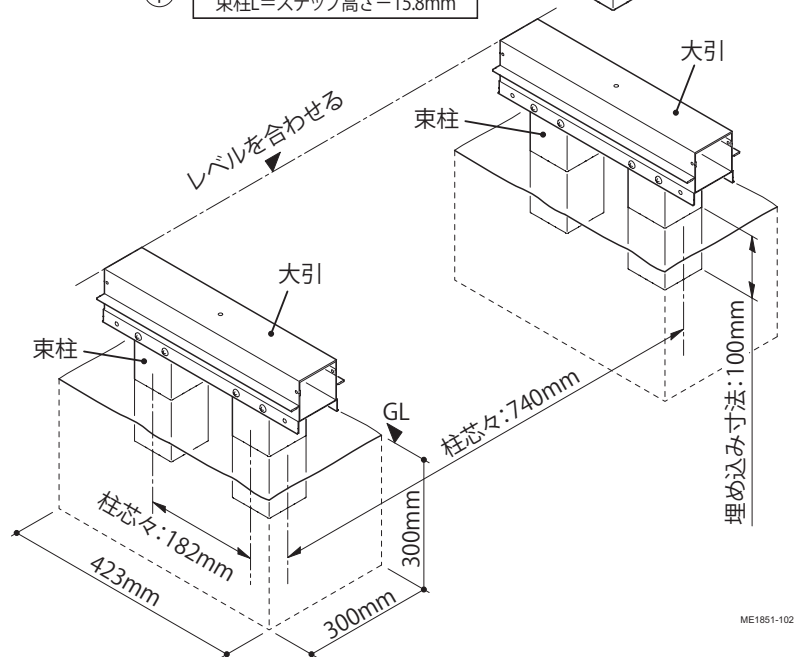
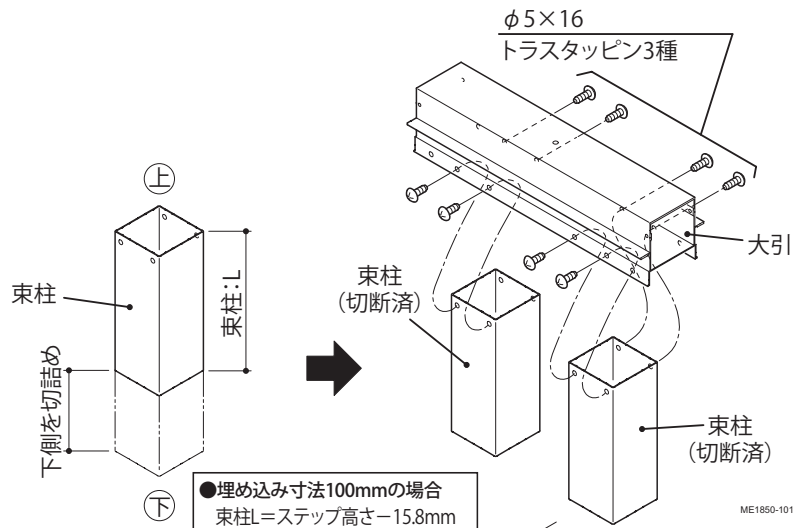
- ④「納まり図」を参照して、束柱をGL面に埋め込んでください。

! 地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

! ●柱は100mm以上埋め込み、基礎寸法は300mm以上としてください。

●柱の高さ、位置レベルを正確に合わせてください。

※レベルが合っていないと、ステップの取付け不良の原因となります。



2 鼻隠し取付金具の取付け

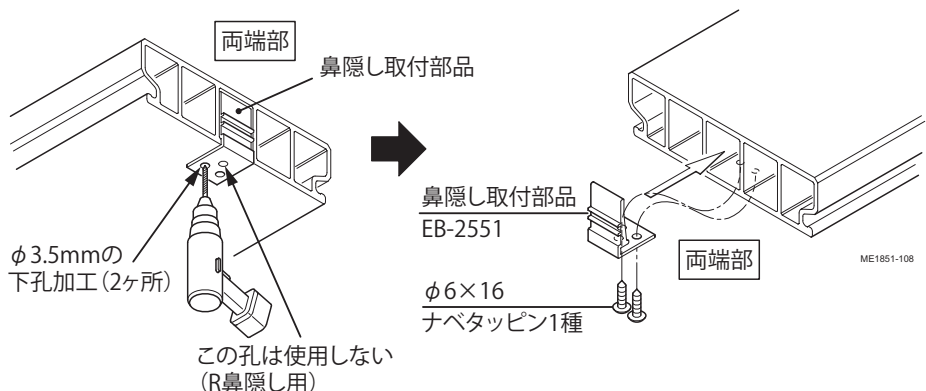
- ①デッキ材底面にφ3.5mmの下孔をあけ、鼻隠し取付金具を取付けてください。

! デッキ材の両端部に金具を取付けてください。

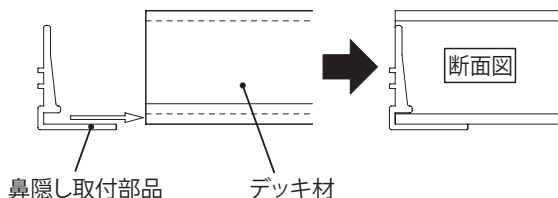
! ビスを締付け過ぎないようにしてください。

※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

●デッキ材底面から見る



●デッキ材側面から見る



3 デッキ材の取付け



- 右図で取付の概要を確認してください。
- 取付金具とデッキ材を皿ビスで固定してください。

①デッキ材を大引端部に置いてください。



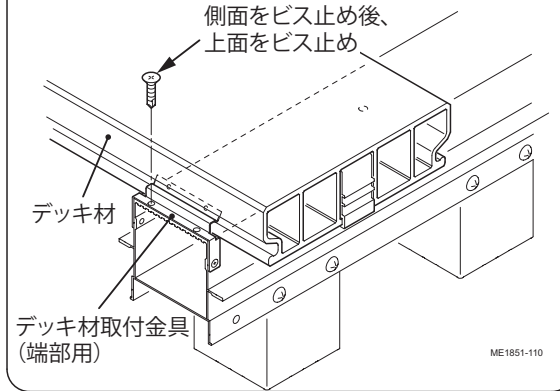
デッキ材の小口が大引中心から85mmとなるようにおいてください。

②デッキ材取付金具（端部用）を大引に取り付け、デッキ材を固定してください。



- デッキ材取付金具（端部用）は、「側面」→「上面」の順にビス止めしてください。
 - 側面1ヶ所・上面1ヶ所を対角にビス止めしてください。
- ※どちらの対角でも可能です。
※ただし、大引の側面にビス止めできない場合は、上面2ヶ所にビス止めでも可能です。

●ビスの打ちかた(Aからみる)



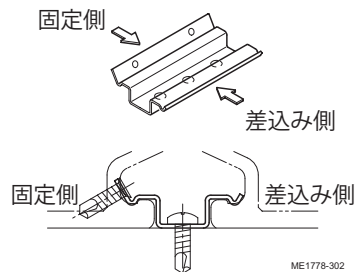
③デッキ材固定金具の固定側で、デッキ材のツメを固定し、ビスで大引に取り付けてください。



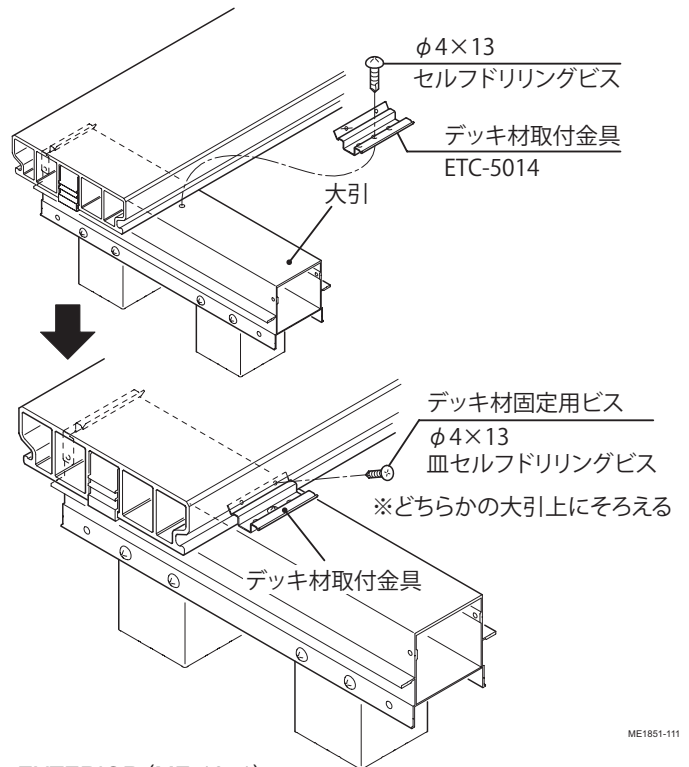
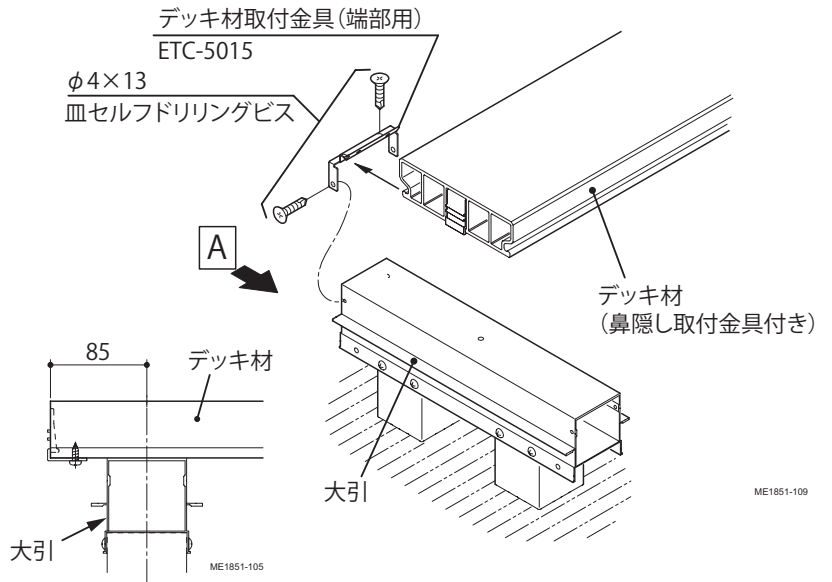
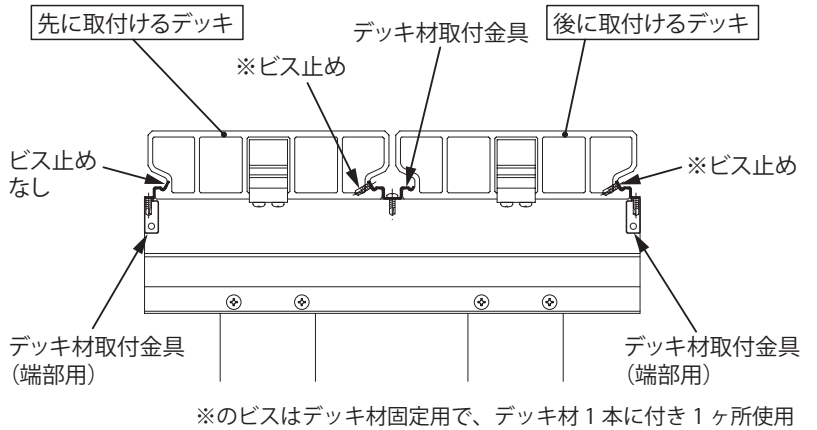
デッキ材取付金具の向きに注意してください。

④デッキ材取付金具とデッキ材を、皿ビスで固定してください。

●デッキ材取付金具の向き



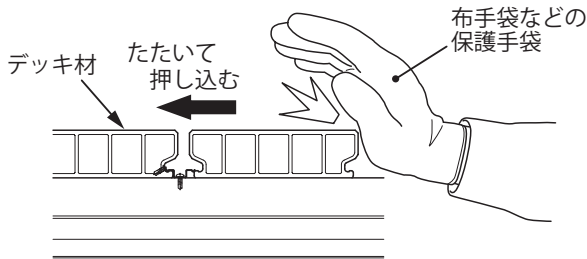
●取付詳細図



⑤デッキ材取付金具の差込み側にデッキ材のツメを差込み、水平に押し込んでください。

- 皮手袋などの保護手袋を着用し、ケガに注意して作業を行なってください。
- デッキ材が入りにくい場合は、デッキ材を手のひらでたたいて押し込んでください。
- ハンマーなどでたたき込まないでください。デッキ材の割れの原因となります。

●デッキ材が入りにくい場合

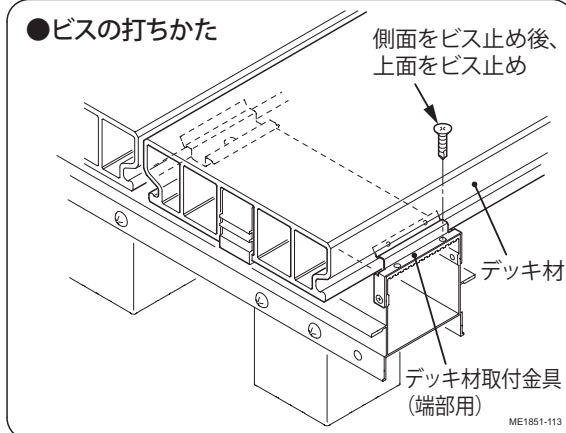


ME1851-117

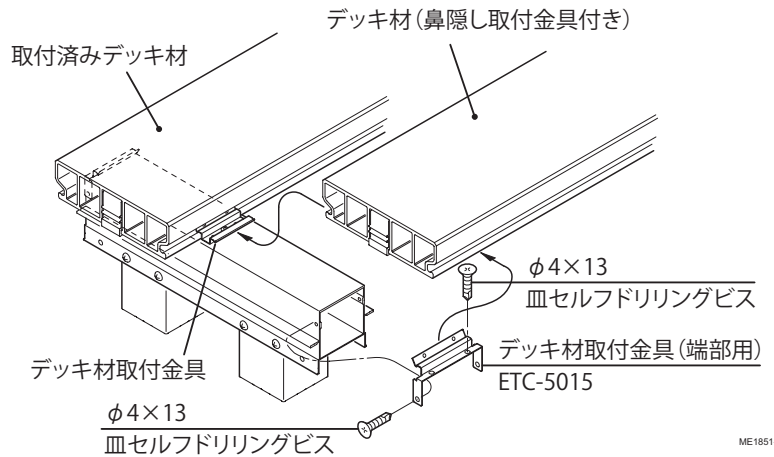
⑦デッキ材取付金具（端部用）をビスで固定してください。

- デッキ材取付金具（端部用）は、「側面」→「上面」の順にビス止めしてください。
- 側面1ヶ所・上面1ヶ所を対角にビス止めしてください。
※どちらの対角でも可能です。
※ただし、大引の側面にビス止めできない場合は、上面2ヶ所にビス止めでも可能です。

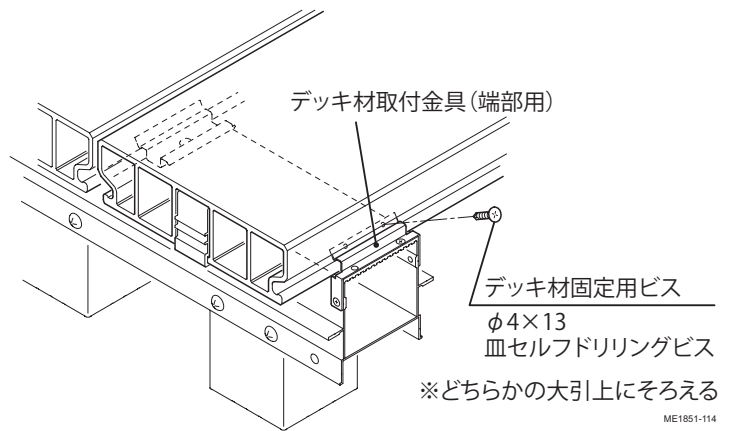
●ビスの打ちかた



ME1851-113

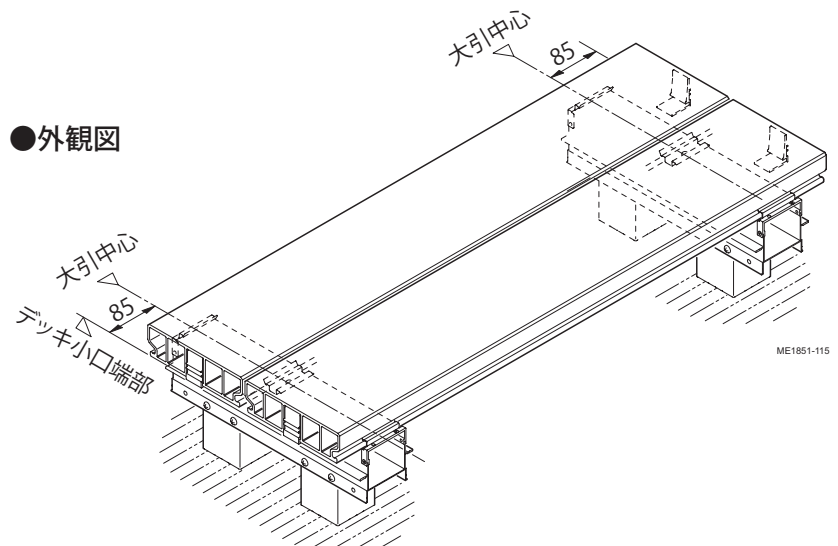


ME1851-112



ME1851-114

●外観図



ME1851-115

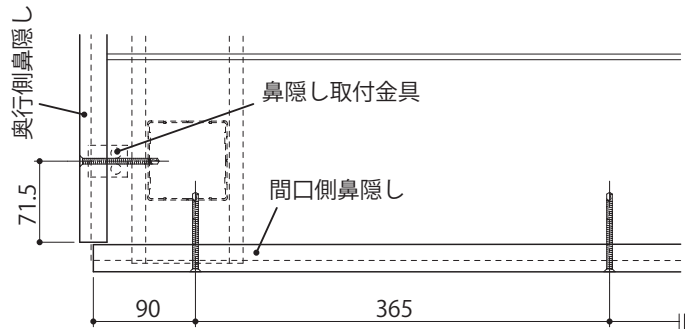
4 鼻隠しの取付け

①鼻隠しをデッキ材に取付けてください。

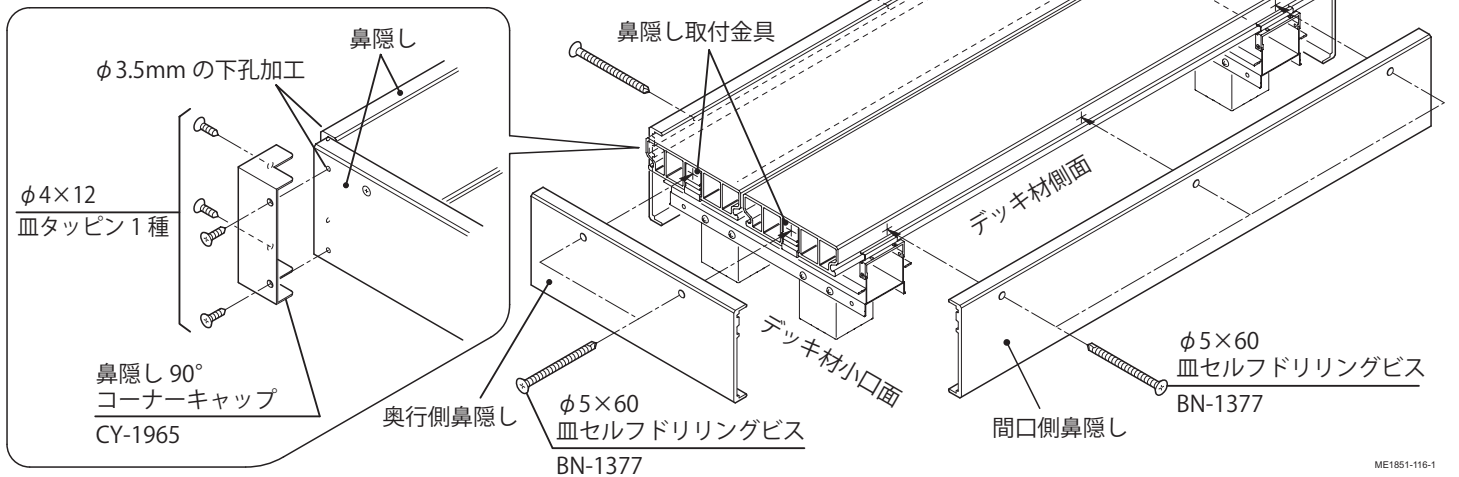


- デッキ材小口面は、鼻隠し取付金具にビス止めしてください。
- デッキ材側面は、直接デッキ材にビス止めしてください。

②デッキコーナー部に、鼻隠し 90° コーナーキャップを取付けてください。



ME1851-118



ME1851-116-1



ビスを締付け過ぎないようにしてください。


※締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



施工完了後、全体を前後左右、および上端より荷重をかけ、ぐらつきがないことを確認してください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。 お客様相談センター  0120-126-001